



東区の皆さまと天使祭を実施して

天使大学看護学科2年 葦の会 上原 えり 田森 紗椰

私たちは第57回天使祭において、東区保健センター・東区健康づくり連絡協議会のご協力をいただき、「健康相談」、「東区健康づくりパネル展」、「東区音頭」を企画・実施させていただきました。例年ご協力させていただいている「健康相談」、「東区健康づくりパネル展」に加え、今年は天候にも恵まれ「東区音頭」も屋外で実施することができました。東区の皆さまには早い時期から集まっていただき、何度も企画の構成について話し合いが持てたことで当日に向けての準備をスムーズ行うことができ、企画の成功に繋がったと実感しています。

今年度の「健康相談」、「東区健康づくりパネル展」については、今年もよりよいものが提供できるよう、葦の会としても様々な工夫をしました。「健康相談」では若年層にもっと関心を持ち、健康について自覚してもらうために、今回は性病についてのポスターを作らせていただきました。また、会場が混雑することのないよう配置についても去年の反省を生かし工夫しました。「東区健康づくりパネル展」では去年と同様スタンプラリーを置き、東区の方と本学生、また地域からの来場者との交流の場を増やす試みを行いました。また、「東区音頭」についても、どこで行うことが一番東区の方たちと本学生が交流でき、楽しむことができるのかということも考え工夫しました。「今年は去年よりもよりよいものを提供・実施したい」という葦の会の仲間の気持ちがあり、準備一つ一つに力が入り、実行に移して行けたと思っています。

当日は、「健康相談」は昨年同様多くの方に来ていただくことができました。特に保健師・栄養士の方からの専門的なアドバイスについての人気が高く、「楽しかった」「勉強になった」などの言葉をいただき、企画の成功を実感できました。「東区健康づくりパネル展」については、健康に関する情報や活動が掲載され、私たち学生としても多くのことを学ぶことができました。また、私自身東区の学生として、もっと地域のことを知りたい、地域に根付いた学習をしていきたいと感じました。「東区音頭」については、今年はより人が集まる屋外で行うことができました。屋外で行うことで、本学生のみならず、他学生やその他の来場者の方にも参加してもらうことができました。東区の皆さまから踊りを教えてもらうことを通して東区の皆さまと沢山お話しすることができました。猛暑のため企画の時間は予定よりも短くなってしまいましたが、楽しい時間を持つことができ、とてもよい交流の場となったと感じています。

私たちはこの天使祭を通して、東区の方々から沢山のものを得ることができたと感じています。看護を学んでいく上で、学内ではほとんど学生や学校関係者の方との交流しかない中で、この企画は唯一地域の方との交流を持てる場だと感じています。地域の方にどのように健康を意識してもらうか。そして、健康増進のために自らの生活習慣を見直してもらい、行動変容してもらえるのかなど、今後の学習に役立てることができる良い経験になりました。

最後に、このような場を設けてくださり、また、企画・運営にご協力してくださった東区の皆さまに感謝し、これからも東区の皆さまと共に天使祭を作り上げていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。